

ブラジル大統領の汚職疑惑及びその影響について

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・ 17日のテメル大統領が汚職に関与したとの現地紙の報道をきっかけに、同大統領の去就への懸念が拡大
- ・ 18日にテメル大統領は最高裁調査で潔白証明されると表明し、辞任は否定
- ・ 18日のブラジル市場では、新たな政治危機により経済政策の頓挫が懸念され、通貨リアルと株式、債券が急落

大統領の汚職関与疑惑の浮上、大統領の去就も懸念

ブラジル現地紙は17日、テメル大統領が、汚職事件で逮捕されたクーニャ前下院議長に口止め料を支払うことを承認していたと報じたことから、大統領の去就への懸念が急速に高まりました。政権支持派もテメル大統領退陣のシナリオを検討し始めるなど、ブラジルの政治危機は深刻化しています。

具体的には、テメル氏が前下院議長のクーニャ被告への支払いを承認する様子を録音したテープが食肉加工会社JBSの幹部2人により最高裁判所に提出されたと報道されています。クーニャ前下院議長は昨年のルセフ前大統領の弾劾を主導した人物で、今回JBSの幹部が司法取引に応じたことで明らかになったとされています。

一方、テメル大統領は18日、自身の汚職疑惑について、最高裁の調査によって偽りであることが証明されるだろうと述べ、辞任の求めには応じない考えを表明しています。疑惑をめぐる詳細は、明らかになっておらず、状況も変化する可能性があります。19日には裁判所が問題の録音テープを公開すると見られ、この詳細がテメル大統領の命運に大きく影響する可能性が高く、予断を許さない状況が続いています。

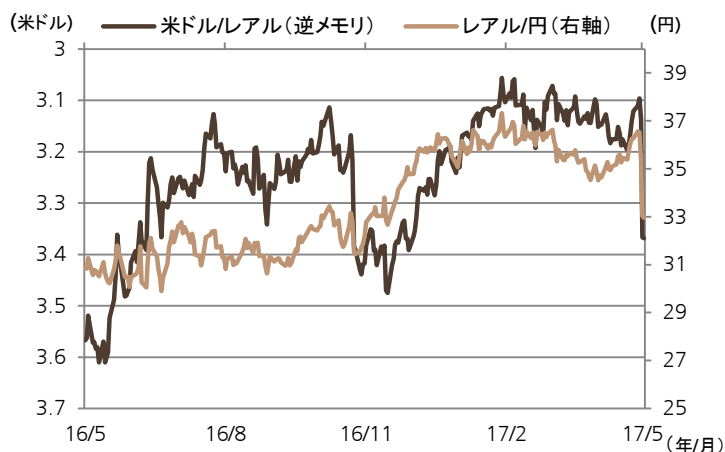
汚職疑惑報道を受けてのブラジル市場の反応

テメル大統領を巻き込む新たな政治危機で、景気後退からの脱却を図る経済政策の頓挫が懸念され、18日のブラジル市場では通貨リアルと株式、債券が急落しています。政治の不透明感が強まる中、各市場での変動は当面高まった状況が続くと見られています。

為替市場では、ブラジル中銀は18日に速やかに行動し、為替スワッププログラムを通じて既に10億-15億ドルのドル流動性を供給しましたが、ブラジルレアルは対ドル・対円でそれぞれ前日比7.3%、6.5%の下落となっています。

■ブラジルレアルの推移

(2016年5月18日～2017年5月18日)



出所：トムソンロイター

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

ブラジル債券市場では、同国の国債保証コストが1月以来の水準に上昇し、2年債利回りは前日の8.98%から10.56%まで上昇しました。

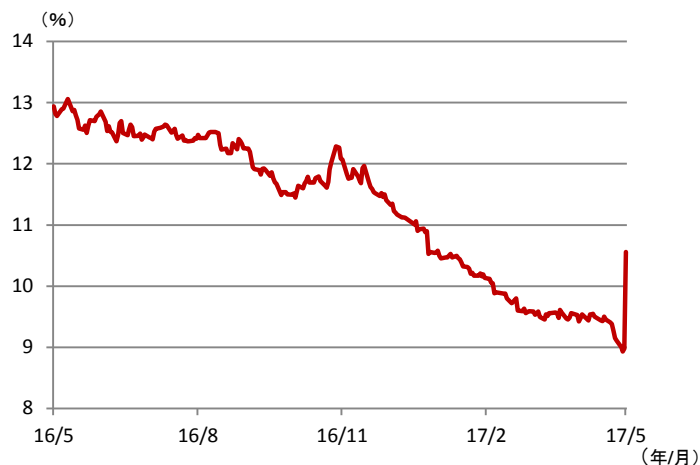
ブラジル株式市場では指標のボベスパ指数は、前日比8.8%安の61597.05で取引を終えています。

年金改革法案等への影響について

年金改革法案に関しては、汚職疑惑報道の直前までは、今月の下院本会議での採決の準備が整い、早期に可決される見通しが示されていました。しかしながら、今回の汚職疑惑の高まりを受け、改革実現の道筋に対する不安が急速に強まっています。ただし、テメル大統領が辞任に追い込まれた場合でも、年内の成立は可能との見方が多勢となっています。

■ブラジル国債2年利回りの推移

(2016年5月18日～2017年5月18日)



■ブラジルボベスパ指数の推移

(2016年5月18日～2017年5月18日)



出所：トムソンロイター

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとに UBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2017. キーシンボル及び UBS の各標章は、UBS の登録又は未登録商標です。UBS は全ての権利を留保します。